

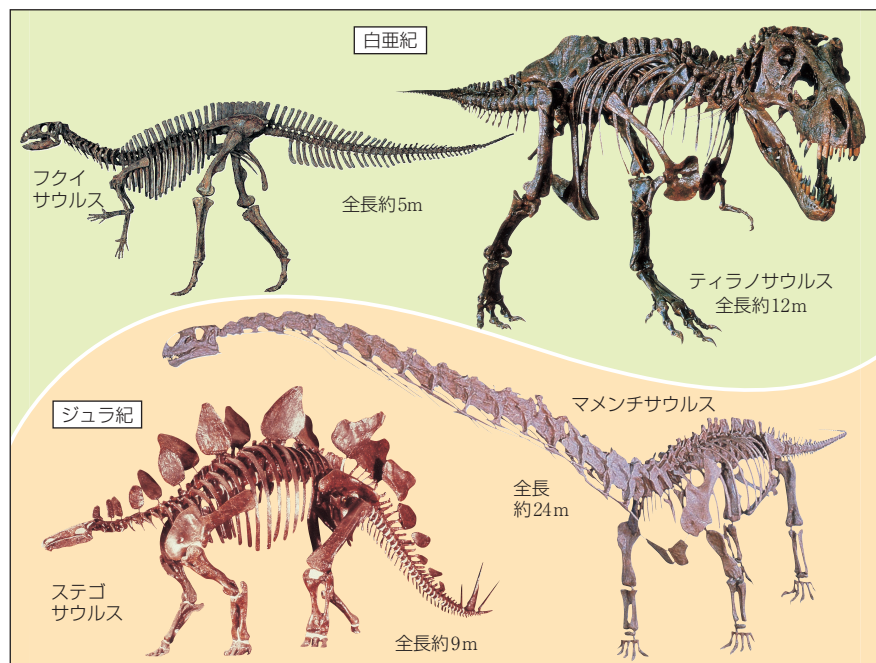
B 陸上生物の多様化と発展(中生代)

中生代^{a)}の約1億8600万年間は、基本的に温暖な気候が続き、その環境で現代の生物の系統につながる生物が進化・発展した。中生代は、三畳(さんじょう)紀・ジュラ紀・白亜紀に区分される。

●中生代の生物● 三畳紀中頃に爬虫類や種子植物などの新しい型の生物が急激に多様化した。古生代中頃までには現れていたアンモナイト^{b)}は、中生代の温暖な海で大繁栄した。陸上では爬虫類の恐竜^{c)}が出現し、裸子植物が全盛期を迎えた。中生代前半には原始的な哺乳類^{ほじゅう}も出現し、中生代中頃には鳥類が爬虫類から分化した。また被子植物も出現した。



▲図21 アンモナイト



▲図22 中生代に繁栄した恐竜(復元骨格)

a) Mesozoic Era b) ammonite c) dinosaur